

2021年3月期 第1四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1 今期の業績をどのように見ているか教えてください。

- 第1四半期では、次期中期経営計画期間に先駆けて取り組んでいた経営構造改革の効果の一部として、データを活用した経営資源の最適配置により、配達生産性を向上させ、業務量が増加する中でコストの増加を抑制することができました。
- 今期も、EC領域の需要の拡大に伴う業務量の増加は継続すると見ており、来期以降も見据え、引き続き経営構造改革を加速し、収益性の向上に取り組めます。
- コスト面では、EC配送ネットワークの整備に向けた委託費の増加、経営構造改革に係る費用、第1四半期に社員に支給した見舞金を含めた新型コロナウイルス感染症関連の費用等も織り込んでいます。
- 足元では、データを活用した経営資源の最適配置を推進しており、今期下期からは、さらに経営構造改革の準備を加速していきますが、それに係る投資やコストは、来期以降に発生すると見込んでいます。
- 現時点では、新型コロナウイルス感染拡大によるBtoB領域や貿易物流への影響、自然災害が業績に与える影響を読みづらい状況にあり、今後、業績や環境変化の推移を踏まえつつ、適時適切に業績見通しをお伝えしていきます。

Q2 EC事業者向け新配送サービス「EAZY」の動向と今後の見通しを教えてください。

- 「EAZY」については、「産業のEC化」に対応すべく、EC事業を統括する組織を2020年3月に立ち上げ、新たな物流サービスの創出を推進する一環で、4月以降のEC領域の成長の加速化に対応し、6月に前倒しで開始しました。
- 荷物を受け取るお客様に利便性を評価いただき、堅調にご利用いただいております。今後さらに利便性を高めるサービスを導入していきます。
- コスト面では、本社主導でデータに基づいたコストコントロールを徹底しながら、さらなる需要の拡大に対応し、業務量が増える中でも、適切な収益性を確保していきます。

以 上